

木田まちづくりセンターの新たな取組

事業名

住民の参画による地域づくり『包丁研ぎ講習』

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

- ・地域住民の「やりたい」「やって欲しい」の声を聞き、ニーズに合った事業を行う。
- ・活動に興味とやりがいを感じ、継続できる事業を行う。
- ・「助け合う」住民同士の新たな繋がりをつくる。

D

事業の概要

開催日：令和3年8月24日（火）

場 所：木田生活改善センター

参加者：6名

講 師：2名（センター運営推進委員）

内 容：猟師と大工職人による講習会。

砥石の見分け方や研ぎ方の基本を教えてください。

包丁を研ぐ人、研いで欲しい人が集まった。



C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

	○									
--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

上記評価の理由

- ・参加者が、期待していた人数より少なかったため。
- ・まだ一度しか行ってない事業のため、その成果がどれだけ課題解決に反映されているか検証できないため。すぐに結果はでないが、今後、様々な取組を行っていくことよって、10に近づいていくことを期待している。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

- ・しっかり住民の声を聞きながら、住民が興味を持てる事業を行う。また、多くの人が参加しやすい日程を設定する。
- ・「包丁研ぎ」に限らず、住民の要望を取り入れた事業を行う。講師についても各団体などの協力を仰ぎ、「できる人」を増やす・育てる。併せて、若い世代の助け合う心を育み、30年以上前から行っているとんど焼きのように住民が主となり継続できる事業を展開する。

